



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 テーオーシー

コード番号 8841 URL <http://www.toc.co.jp/toc/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大谷卓男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役事務管理部門担当

(氏名) 羽廣元和

TEL 03-3494-2111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,403	△5.4	2,888	△8.3	2,524	△7.5	924	6.9
23年3月期第2四半期	11,002	10.6	3,149	△2.3	2,728	△1.1	864	△43.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,314百万円 (64.6%) 23年3月期第2四半期 1,406百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7.51	—
23年3月期第2四半期	7.01	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	138,637	65,205	46.7	526.00
23年3月期	139,997	63,526	45.0	511.45

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 64,719百万円 23年3月期 63,040百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.50	—	4.50	9.00
24年3月期	—	4.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.50	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,900	0.2	6,100	6.1	5,300	8.7	3,000	44.0	24.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	136,879,352 株	23年3月期	136,879,352 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	13,838,569 株	23年3月期	13,621,297 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	123,164,951 株	23年3月期2Q	123,297,609 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)における当社グループの主力事業であります不動産賃貸事業におきましては、防災意識の高まりから耐震性が高く新築・築浅ビルのニーズは強くなったものの、企業のオフィス移転に伴うコスト重視の傾向は強く、依然として賃料相場は弱含み傾向が続いております。また、商業ビルにおきましては、大震災後の自粛ムードが緩和され節電関連商品等の需要から個人消費の落ち込みは回復しつつありますが、依然として商業施設の運営においては厳しい事業環境となっております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,403百万円(前年同四半期比5.4%減)となり、経常利益は2,524百万円(前年同四半期比7.5%減)、四半期純利益は924百万円(前年同四半期比6.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

不動産事業におきましては、ビルの特性を活かした営業活動を行いました。入居率については、若干改善はしたものの、賃料水準の低下等が影響し、売上高は8,505百万円(前年同四半期比4.5%減)となり、営業利益は2,990百万円(前年同四半期比10.6%減)となりました。

リネンサプライ及びランドリー事業では、大口顧客先であるホテルの大震災・原発問題等による大幅な稼働率減少等の影響を受けて売上高は665百万円(前年同四半期比16.5%減)となり、営業損失は2百万円(前年同四半期は65百万円の営業利益)となりました。

その他では、スポーツクラブ及び温浴施設事業におきまして、前第1四半期に横浜市桜木町に開業した「みなとみらいフィットネスクラブ MM Begin」の会員数の増加に伴い売上高が増えましたが、ビル管理関連サービス事業におきまして、前第2四半期連結累計期間にあった「TOCみなとみらい」関連の請負工事が大幅に減少したこと等により、その他での売上高は1,232百万円(前年同四半期比4.8%減)となりました。利益面では、上記フィットネスクラブが改善し、電子商取引事業などコストの削減に努めた結果、営業損失は105百万円(前年同四半期は269百万円の営業損失)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,360百万円減少し138,637百万円となりました。主な減少は、固定資産が減価償却により1,687百万円減少しております。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,040百万円減少し73,431百万円となりました。主な増減は、固定負債の繰延税金負債が918百万円増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金を含めた長期借入金が2,281百万円、未払法人税等が626百万円減少しております。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,679百万円増加し65,205百万円となりました。主な増加は、その他有価証券評価差額金1,412百万円及び四半期純利益924百万円であり、主な減少は、剰余金の配当554百万円によるものであります。自己資本比率は、前連結会計年度末の45.0%から当第2四半期連結会計期間末は46.7%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べ456百万円増加し7,922百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は2,391百万円(前年同四半期比53.4%減)となりました。

主な内訳は、増加要因として税金等調整前四半期純利益1,652百万円及び減価償却費1,687百万円の計上であり、減少要因は法人税等の支払額1,264百万円及び未払消費税等の減少356百万円であります。また、前第2四半期連結累計期間との比較では2,742百万円少ない資金の収入となりました。これは主に、法人税等の支払額が前第2四半期連結累計期間では1,162百万円少なかったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により得られた資金は1,358百万円(前年同四半期は2,960百万円の資金の支出)となりました。

主な要因は、投資有価証券の償還による収入1,500百万円であります。また、前第2四半期連結累計期間は2,960百万円の資金の支出となりましたが、これは、主に有形固定資産の取得に2,968百万円支出したことによりです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は3,510百万円(前年同四半期比8.2%減)となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出2,281百万円及び配当金の支払額551百万円であります。また、前第2四半期連結累計期間は3,824百万円の資金の支出でしたが、主な増減は、長期借入れによる収入3,796百万円、短期借入金の減少(純額)5,860百万円及び長期借入金の返済による支出2,098百万円であります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおける業績予想につきましては、主力事業である不動産事業は、オフィスの需給等先行き厳しい状況が続くと思われませんが、現時点におきましては、平成23年5月17日発表の予想数値の変更はありません。なお、当第2四半期末に投資有価証券評価損871百万円を計上いたしましたが、四半期末における投資有価証券の評価方法につきましては洗替え方式を採用しております。このため、平成24年3月期第3四半期及び平成24年3月期の各期末の株価により、特別損失の金額が変動する場合、もしくは特別損失を計上しない場合があります。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,820	8,759
受取手形及び営業未収入金	942	976
商品及び製品	30	23
仕掛品	19	15
原材料及び貯蔵品	188	204
繰延税金資産	481	394
その他	319	387
貸倒引当金	△34	△37
流動資産合計	10,766	10,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	63,784	62,521
機械装置及び運搬具(純額)	150	135
土地	44,095	44,095
その他(純額)	219	214
有形固定資産合計	108,249	106,966
無形固定資産		
借地権	6,966	6,966
施設利用権	62	59
その他	130	111
無形固定資産合計	7,159	7,137
投資その他の資産		
投資有価証券	12,504	12,514
保険積立金	804	821
繰延税金資産	249	230
その他	263	240
投資その他の資産合計	13,821	13,807
固定資産合計	129,231	127,912
資産合計	139,997	138,637

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63	70
短期借入金	14,069	13,763
1年内償還予定の社債	2,680	2,530
1年内返済予定の長期借入金	5,965	7,449
未払金	1,464	1,187
未払消費税等	493	136
未払法人税等	1,291	665
賞与引当金	92	98
災害損失引当金	50	10
その他	2,449	2,704
流動負債合計	28,618	28,617
固定負債		
社債	870	730
長期借入金	35,204	31,438
長期預り保証金	10,360	10,261
退職給付引当金	254	279
役員退職慰労引当金	253	263
環境対策引当金	58	58
資産除去債務	261	261
繰延税金負債	397	1,316
その他	192	205
固定負債合計	47,852	44,814
負債合計	76,471	73,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,768	11,768
資本剰余金	10,082	10,082
利益剰余金	45,926	46,296
自己株式	△5,203	△5,283
株主資本合計	62,574	62,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	497	1,909
繰延ヘッジ損益	△31	△54
その他の包括利益累計額合計	465	1,855
少数株主持分	485	486
純資産合計	63,526	65,205
負債純資産合計	139,997	138,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	11,002	10,403
売上原価	6,564	6,452
売上総利益	4,437	3,950
販売費及び一般管理費	1,287	1,062
営業利益	3,149	2,888
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	122	124
持分法による投資利益	13	6
その他	71	68
営業外収益合計	214	203
営業外費用		
支払利息	574	514
その他	61	53
営業外費用合計	635	567
経常利益	2,728	2,524
特別利益		
投資有価証券売却益	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
たな卸資産評価損	50	—
たな卸資産廃棄損	13	—
減損損失	238	—
固定資産除却損	5	0
投資有価証券評価損	583	871
投資有価証券売却損	34	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	261	—
環境対策引当金繰入額	58	—
特別損失合計	1,246	871
税金等調整前四半期純利益	1,484	1,652
法人税、住民税及び事業税	95	657
法人税等調整額	506	70
法人税等合計	601	728
少数株主損益調整前四半期純利益	882	924
少数株主利益	17	0
四半期純利益	864	924

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	882	924
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	519	1,412
繰延ヘッジ損益	4	△22
その他の包括利益合計	523	1,389
四半期包括利益	1,406	2,314
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,388	2,314
少数株主に係る四半期包括利益	17	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,484	1,652
減価償却費	1,727	1,687
減損損失	238	—
投資有価証券評価損益(△は益)	583	871
投資有価証券売却損益(△は益)	34	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	6
災害損失引当金の増減額(△は減少)	—	△40
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	261	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28	24
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9	9
環境対策引当金の増減額(△は減少)	58	—
受取利息及び受取配当金	△129	△128
支払利息	574	514
持分法による投資損益(△は益)	△13	△6
固定資産除売却損益(△は益)	5	0
売上債権の増減額(△は増加)	84	△34
たな卸資産の増減額(△は増加)	13	△5
仕入債務の増減額(△は減少)	△151	7
預り保証金の増減額(△は減少)	△349	△128
未払消費税等の増減額(△は減少)	162	△356
その他	971	△33
小計	5,605	4,042
利息及び配当金の受取額	134	133
利息の支払額	△534	△520
法人税等の還付額	30	—
法人税等の支払額	△101	△1,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,133	2,391
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△625	△25
定期預金の払戻による収入	325	325
有形固定資産の取得による支出	△2,968	△417
無形固定資産の取得による支出	△22	△6
投資有価証券の売却による収入	318	—
投資有価証券の償還による収入	—	1,500
保険積立金の払戻による収入	138	50
保険積立金の積立による支出	△121	△67
その他	△4	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,960	1,358

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,860	△306
長期借入れによる収入	3,796	—
長期借入金の返済による支出	△2,098	△2,281
社債の発行による収入	977	—
社債の償還による支出	△150	△290
自己株式の取得による支出	△0	△80
配当金の支払額	△490	△551
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,824	△3,510
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,651	239
現金及び現金同等物の期首残高	9,117	7,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,465	7,922

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプライ 及びブランド リー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,909	796	9,706	1,295	11,002	—	11,002
セグメント間の内部 売上高又は振替高	503	27	530	66	597	△597	—
計	9,412	823	10,236	1,362	11,599	△597	11,002
セグメント利益 又は損失(△)	3,346	65	3,412	△269	3,142	7	3,149

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製薬事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円には、セグメント間取引消去3百万円、減価償却の調整額3百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントの遊休資産について、時価の著しい下落により、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては238百万円であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産事業	リネンサプライ 及びブランド リー事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,505	665	9,170	1,232	10,403	—	10,403
セグメント間の内部 売上高又は振替高	475	26	501	68	570	△570	—
計	8,980	691	9,672	1,301	10,973	△570	10,403
セグメント利益 又は損失(△)	2,990	△2	2,988	△105	2,882	5	2,888

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理関連サービス事業、製薬事業、スポーツクラブ及び温浴施設事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額5百万円には、セグメント間取引消去2百万円、減価償却の調整額3百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。